

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-118	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-902	基本地図帳 改訂版		

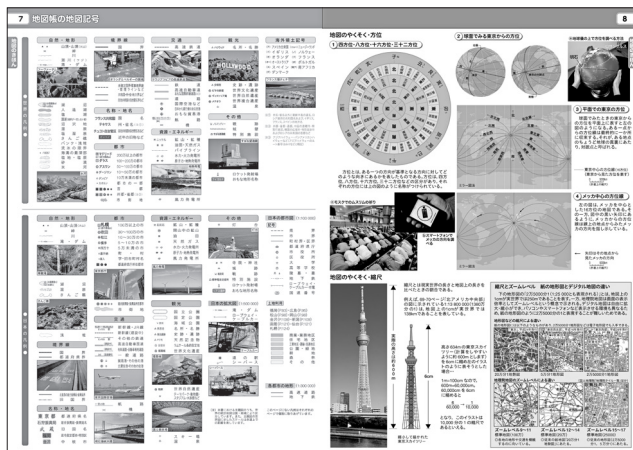
1. 編修の基本方針

世の中の情勢を学ぶにはまず“どこ”で起きた事柄なのかを知る必要があります。その“どこ”がわかるようになるためには日頃から地図に慣れ親しみ、有効に活用することが大切だと考えます。

本地図帳は、地図を活用する基礎的・基本的な技能の習得を第一に、諸外国や日本の地域内外における位置関係や結びつき、現状や課題など多岐にわたる地理的な見方・考え方を培い、地理歴史科だけでなく他教科・他科目ひいては今後の進路に役立つ知識や思考を身につけることができるようになることを念頭において編修しています。

① 地図帳の冒頭にある「地図のきほん」で地図の知識や技能が身につく！

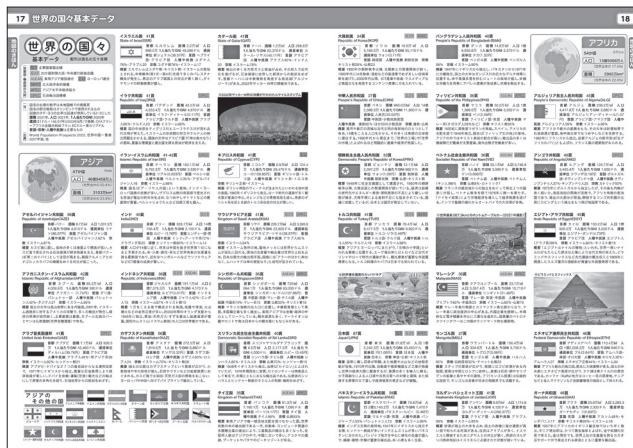
(1) ビジュアルを重視してわかりやすい紙面



本書では、文章だけではわかりにくい地図の決まりごとや地図記号などを、写真・図版・イラストを用いることで視覚的にわかりやすく紹介しています。この他にも「地図帳の使い方」や「地図の歴史と地理情報システム」など地図の基本要素をまとめて掲載しました。

◀P.7～8 地図記号と地図のやくそく

(2) 「世界の国々基本データ」で世界の主要な国を事前学習できる！

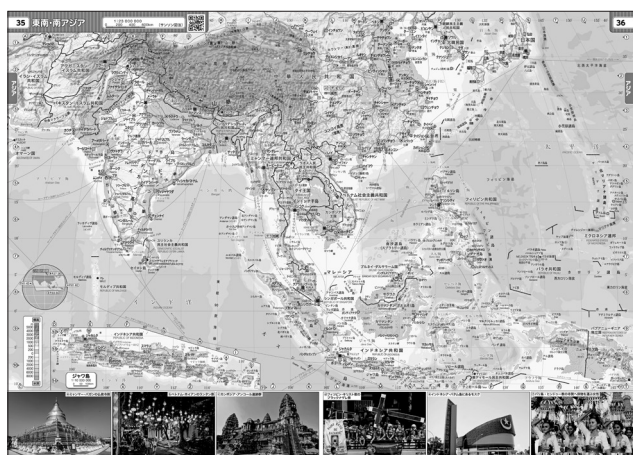


世界地図に入る前に設けた「世界の国々基本データ」のページでは主要国の人口や面積、1人当たり GNI などの諸データに加え、文章でその国の概要を理解したり、写真でとらえたりすることができ、世界を知ることや世界地図を読むことへの第一歩として興味や関心を持たせます。

◀P.17～18 世界の国々基本データ

②世界の地図や資料図は「大きさ、見やすさ」をさらに追及！

(1) 多彩な写真と組み合わせた大判の紙面構成



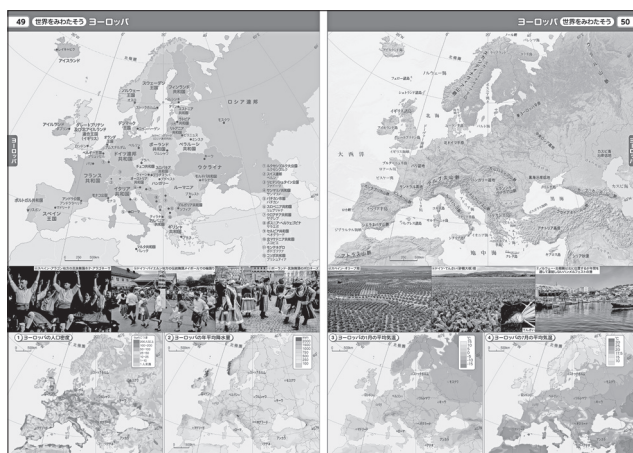
▲P.35～36 東南・南アジア



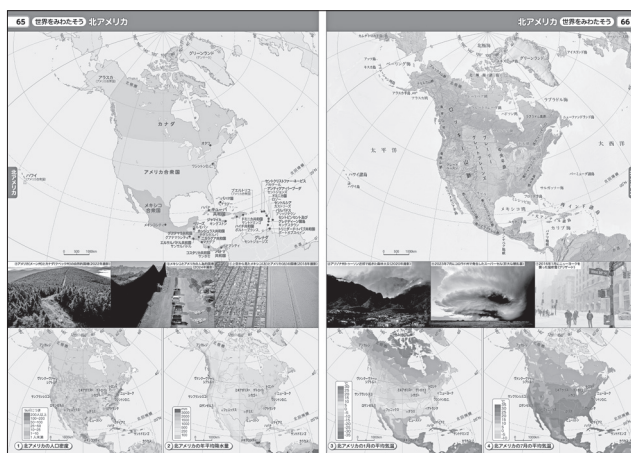
▲P.79～80 アンデス地方・ブラジル主要部

地図上の文字の大きさや写真の大きさにこだわりました。誰にとっても見やすく、わかりやすい一般図になっています。「東南・南アジア」「地中海」「北アメリカ中央部」「アンデス地方」「ブラジル主要部」などでは、その地域にちなんだ特色ある写真とともに地図を掲載しています。

(2) 地域を大観できる「世界をみわたそう」シリーズを新設



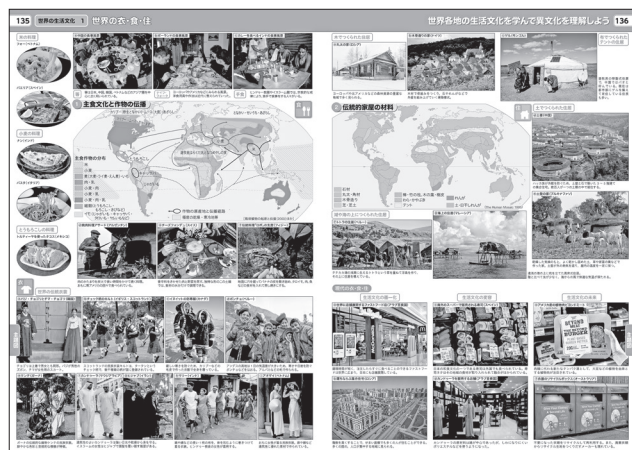
▲P.49～50 世界をみわたそう ヨーロッパ



▲P.65～66 世界をみわたそう 北アメリカ

アジア・ヨーロッパ・北アメリカの導入として、地域を広く見渡せる行政区分図と自然環境の地図を並べ、人口や気候の資料図も加えました。気候景観、民族、国境などさまざまなテーマにまとめた写真を掲載し、地域の特色や外観をつかむのに寄与しています。

(3) テーマに基づいて見開きで学習することができる資料図

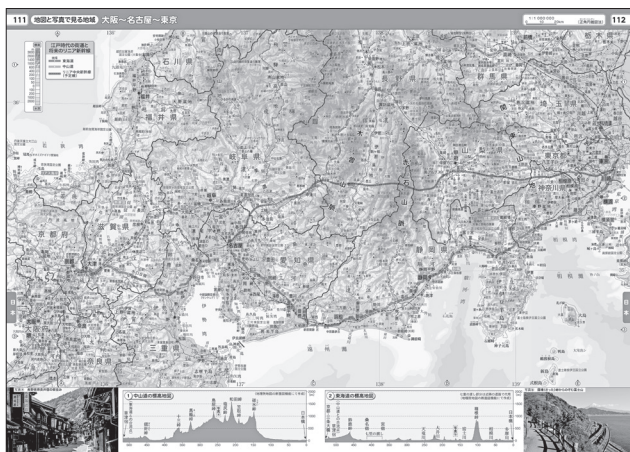


◀P.135～136 世界の衣・食・住

資料図では、1つのテーマにつき1見開きで構成しています。生活文化や地球的課題といった地理総合や地理探究を意識した配列とし、「言語・民族・宗教」「民族・領土問題」「人口・人口問題」「農牧業・食料問題」「資源・エネルギー・産業」「環境問題」「SDGsと私たちの暮らし」など地理学習に必須な内容を取り上げています。

③ 独自の紙面で日本地図から新たな発見ができる！

(1) 地域のつながりを考えたスケールや図取りの日本地図



▲P.111～112 大阪～名古屋～東京



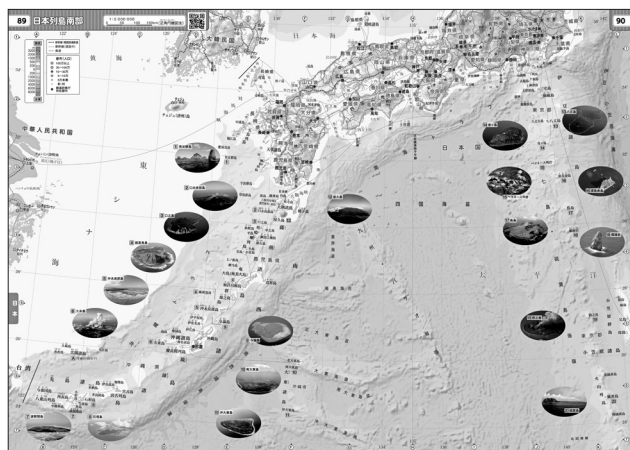
▲P.101～102 近畿・中京

日本の一般図では大きな判型を生かし、各 47 都道府県が図取りで切れることなく見られるように配慮しています。また、東京から大阪まで人口集中地域を一望する「大阪～名古屋～東京」、中京圏と近畿圏が1図になった「近畿・中京」など地域のつながりがわかる地図を掲載しました。

(2) 日本の領土や周辺諸国とのつながりを見て取れる地図



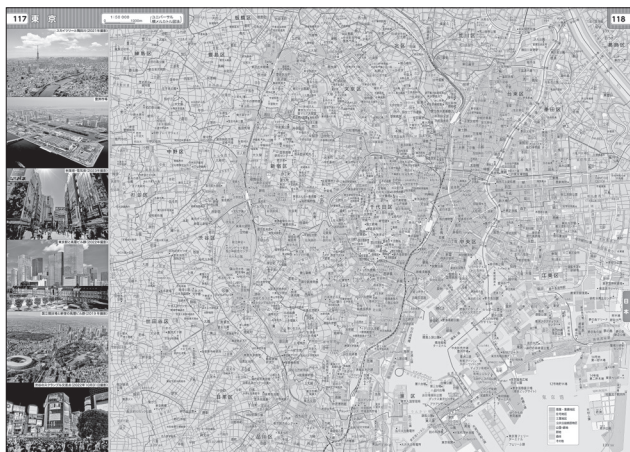
左 P.87 日本の位置



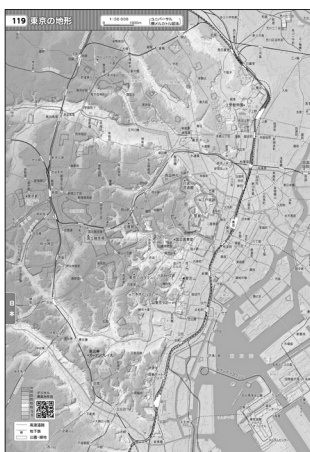
右 P.89～90 日本列島南部

日本の国土と周辺諸国が一望できる「日本の位置」に東西南北端の写真を掲載し、日本の国土を視覚的に理解できるようにしています。また「日本列島南部」「日本列島北部」では日本には数多くの島があることを意識づけることができるよう島の写真を一般図中に配しました。

(3) 土地利用と地形をあわせて眺めることができる都市図



▲P.117～118 東京



▲P.119 東京の地形

札幌、東京、名古屋、大阪、広島など 18 の詳細な都市図を収録しています。各都市の土地利用や都市の形態を確認しながら、日本の政治・経済・歴史的拠点となっている大都市の現況を知ることができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の国々	冒頭のページにて世界の独立国の全てを見られる図を掲載し、一覧性を高めて知識の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.1～2
日本の行政区分 日本の位置	我が国の国土の現状や周辺諸国との位置関係が理解できるようにしています。(第五号)	P.3 P.87
世界の国々基本データ	世界の独立国全ての国旗を掲載するとともに、おもな国については統計資料や説明文を利用して日本を含む独立国の概要を知ることができるようにしています。(第五号)	P.17～22
世界の一般図 ユーラシア、東アジア、中国東部、ペキン周辺、長江下流域、珠江下流域、台湾、朝鮮半島、東南・南アジア、南シナ海周辺、南アジア、ガンジス川下流域、西アジア・中央アジア、イスラエル・パレスチナ周辺、カフカス地方、アフリカ、地中海、ヨーロッパ、西・中央ヨーロッパ、ヨーロッパ東部、イタリア・バルカン諸国、イギリス・アイルランド、北ヨーロッパ・アイスランド、スイス、ユーラシア北部、北アメリカ、北アメリカ中央部、アメリカ合衆国中・東部、アメリカ合衆国西部、中央アメリカ、南アメリカ、アンデス地方、ブラジル主要部、太平洋・インド洋、オセアニア、大西洋、北極・南極	世界の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.23～86 までの一般図部分
	おもな地形名称を取り上げ、世界のどのような地域に地理的特徴のある地形が存在するのかがわかりやすいようにしました。(第一号、第四号)	P.23～86 までの一般図部分
	世界の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。(第四号)	P.23～86 までの一般図部分
	世界の一般図に国立公園の範囲を示す記号とその名称（一部）を取り上げています。(第四号)	P.69～73 P.83～84
	ヨーロッパの歴史や文化を考える上で役立つ聖堂・教会、宮殿・城の記号を掲載しています。(第四号)	P.53～54
	一般図には遺跡・史跡や名所をそれぞれ赤字、青文字にすることでわかりやすくなるような表記を用いています。(第五号)	P.23～86 までの一般図部分
日本の一般図 日本列島南部、日本列島北部、沖縄本島・南西諸島、九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、近畿・中京、中部地方、関東地方、関東中央部、東北地方、北海道地方および各都市図	日本の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.88～124
	日本の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。(第四号)	P.88～124
	日本の一般図に国立公園・国定公園の範囲を示す記号とその名称、ラムサール条約指定地を示す記号を取り上げています。(第四号)	P.88～124
日本主題図	農業など産業に関係する図を取り上げ、人間生活や産業との関わりを考察できるようにしています。(第二号)	P.126

日本の自然環境と災害 地形 気候・植生・土壌 世界の自然災害 世界の地形	地球温暖化や大気汚染などのテーマから、地球の自然環境の保全や自然を保護していくとする姿勢を養える内容にしています。(第四号)	P.127～128 P.180～182
世界の衣・食・住 言語・民族・宗教	世界の衣食住や言語・宗教がどのように分布しているのかを知ることができる主題図を掲載することで、世界の文化がわかるようにしています。(第五号)	P.135～138
民族・領土問題 人口・人口問題 農業・食料問題 資源・エネルギー問題 環境問題 世界の結びつき	農業や工業など産業に関連する主題図を設けることで、産業が人間生活とどのような関わり合いにあるかを考察できるようにしました。(第二号)	P.139～148
	人口・貿易・環境など今日の社会を現した内容の主題図を取り上げ、社会への興味や関心、社会参画への意識を持てるようにしています。(第三号)	P.139～148

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①地図を見るための工夫

大州ごとに見出しやタイトルのデザイン、インデックスの色を統一することで、地図を探しやすくまた目的のページにたどり着きやすくなるようにしています。

世界の一般図にはインデックスマップを設け、今見ている場所が地球上のどの位置なのかを判断しやすいものにしています。また隣接地域が何ページにあるのかを示し検索性を上げています。

②すべての方に見やすい、読みやすい文字仕様

一般図の地形表現から主題図まで地図帳全般を通して、ユニバーサルデザイン（UD）のフォントを主体としています。また、地名などの文字を見やすく、読みやすいものにするため明るい色彩の紙面構成になるよう努めました。なお、地図学習において重要である国名や首都名、都道府県名は文字のサイズを大きくし白い縁取りをして、他の地名との差をつけ目に留まりやすく、検索しやすいようにしています。さらに色合いの濃い下地の上に置かれることの多い山地・山脈名や同色の下地の上に置かれる海洋名などにも白い縁取りをつけ色覚特性のある方に対しても配慮しています。

③地名表記の精選

本地図帳では多数の学術書ならびにインターネット上にてより多く取り上げられている地名表記や現地音に近い地名表記を比較検討し、世間的に認知度の高い地名を掲載しています。

④長期の使用に対応した用紙と製本

高等学校において地図帳は3年以上の継続的な使用が考えられるため、その使用期間に耐えられる用紙の選定や頑丈な製本方式による造本を心がけています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-118	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-902	基本地図帳 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本地図帳は学習指導要領「地理総合」「地理探究」を参考にして作成するとともに、主題図の項目は系統地理学的視点から配列をしていますが、地誌学習にも十分対応できるようにそれぞれの項目には地域ごとの詳細な図版も掲載しました。

(1) 一般図について

○世界の一般図に収録した世界遺産、国際空港、日本から直行便のある空港、高速自動車国道、戦跡、遺跡・史跡、ロケット発射場などと、日本の一般図に収録した政令指定都市、中核市、世界遺産、ラムサール条約指定地、名所・名勝、史跡・遺跡、テーマパークなどの名称は、記号・文字囲みや色を用いて示すことによって、一般の地名と一目で区別できるようにしています。さらにこれらの地名などを増やすことによって、地理の分野だけではなく、歴史総合や公共の授業においても効果的に利用できるようにしました。

○日本の一般図では、縮尺を100万分の1と115万分の1（北海道地方、東北地方を除く）とし、拡大して見せる地域と範囲を広くして見せる地域に分けて掲載しています。これにより47都道府県すべてが図取りで切られることなく見るできるようになっています。人口が集中して地図情報が過密な関東中央部と近畿・中京については50万分の1の拡大図で補っています。これらの一般図は、学校における授業だけではなく日常生活においても広く利用できるように配慮し、最新の資料を収録して、普遍性の高い、辞書的な役割を持たせました。

(2) 主題図について

○地形や気候などの自然環境は、地理の分野の中でも基礎・基本となるため、世界主題図の先頭に配置しました。また、地理総合では自然環境と防災が設けられていることを考慮し、巻末に世界の地形とともに自然災害を学ぶページを、日本主題図には火山や地震の図を設けています。

○言語・民族・宗教、農林水産業、資源・エネルギーなど世界主題図のページについては、地理総合、地理探究ともに地球的課題を扱っているため、人口問題や環境問題を包括できるような内容にしたり、環境問題のように独立したページを設けてたりするなどの配慮をしています。

○日本の主題図では、自然・人口・産業などさまざまなテーマの主題図を掲載して、多面的に日本を捉えられるようにし、農業分野では、写真やイラストを併記して親しみの持てるものとししました。

(3) 統計資料・索引について

○統計資料については、基本的な事項を取り上げ、世界各国の最新データが読み取れるようにし、索引については国名や首都名、県庁所在都市などに着色や太字を用いて検索しやすいようにしています。

○スポーツ、文学・映画、文化・生誕地、歴史・政治経済のテーマ的索引を設けることで、より地名への関心を高めるようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
地図のきほん 世界の国々	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.1～2	
地図のきほん 日本の都道府県 古代の行政区分 日本の交通	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 A(3) 交通・通信，観光 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.3～4	
地図のきほん 地図のやくそく・方位 緯度・経度と地図の 投影法 地図の歴史と地理情報 システム	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界	P.8～12	
地図のきほん 地図でみる球面上の 世界	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.13～14	
地図のきほん 地図でみる世界の 結びつき	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(3) 交通・通信，観光 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.15～16	
地図のきほん 世界の国々基本データ	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.17～22	
世界の一般図 (ユーラシア～北極・南極)	世界の一般図については，高等学校教科用図書検定 基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成。	P.23～86 の 一般図部分	
日本の位置	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.87	
日本の一般図・都市図 (南西諸島～ 北海道地方)	日本の一般図については，高等学校教科用図書検定 基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成。 都市図は，高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史 科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料 として掲載。	P.88～124 の 一般図部分	
日本主題図	地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境 地理探究 A(2) 資源，産業 地理探究 A(3) 交通・通信，観光 地理探究 A(4) 人口，都市・村落 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.125～128	
世界の地形 身近な地形	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境	P.129～131 P.181～182	

気温と降水量 気候・植生・土壌	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(1)自然環境	P.132～134	
世界の衣・食・住	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5)生活文化，民族，宗教 地理探究 B(2)現代世界の諸地域	P.135～136	
言語・民族・宗教	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5)生活文化，民族，宗教	P.137～138	
民族・領土問題	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(5)生活文化，民族，宗教	P.139～140	
人口・人口問題	地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(4)人口，都市・村落	P.141～142	
食料問題と農業	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(2)資源，産業	P.143～144	
資源・エネルギー問題 と産業	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(2)資源，産業	P.145～146	
環境問題	地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(1)自然環境	P.147～148	
SDGs と私たちの暮らし	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力	P.149～150	
統計資料	左に示した統計資料は，高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.151～164	
事項索引 地名索引（世界）， 地名索引（日本）	左に示した索引は，高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.165～179	
地質年代表	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.179	
世界の自然災害	地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.180	